

Peace of Galactic Cluster

天の川銀河 5

先進テクノロジーの星の悲劇



大熊座



○大熊座に関する女神からのメッセージ

私達に対する次のミッションが始まりました。

今回は大熊座の問題ですが、実はこの大熊座一つだけでかなり多様な問題が、引き起こされていることを、私達は知る事となりました。

女神からのメッセージからご紹介しますが、このメッセージは、私達を大熊座に導く呼び水にしかすぎません。大熊座に入った時に、私達はこの宇宙の最新の科学技術が隠されていることに気づいたのです。

牛飼い座から大熊座に関する問題は、かなりのパワフルな仕事となるでしょう。

もともと大熊と小熊は親子でしたが、無理やり大熊に変えられた女神が、子供の矢にかかって死んでしまうという悲惨な物語が始まりです。

女神は、星になっても、その気持ちを癒すことがなく、何時までも小熊を追いかけ続けているのです。そのような思いが、大熊座を闇の星座と変えてしまいました。

本来ならばおとめ座、牛使い座と協力して、この宇宙の時と空間の創造にかかわるべきものでした。

大熊座の背中にある北斗7星は、新たに作りだされた時と空間をこの宇宙に広げて、神の創造のエネルギーを伝えていくものです。

しかしながら、本来すべての生命に対して、創造の愛を伝える大熊座の働きが、滞っているために、その作用はじゅうぶんに行われていません。

またペテルギウスのダイヤモンドの星達にとっても、この空間と時の創造がうまくいかなければ、生命の創造もできないのです。

今回皆さんが、水瓶座とくじら座を中心とした生命の水の流れを、適切なものにしていただいています。それと同じように、時と空間を創造し、それによって天の川銀河の適切な時の管理を行いたいのです。ペテルギウスのダイヤモンドは、生命を生み出し、白鳥の六芒星が、叡智ある存在へと育てていくのが、この天の川銀河のシステムです。ケンタウルスやケイロン達は、南十字星に降りたつ創造主の愛を守ります。この天の川銀河の各地に配置された宇宙のシステムというものを理解してください。

大熊座は、女神そのものがあまりにも子供を愛するために、何物も見ることがなくなり、愛の奴隷となってしまいました。

彼女には、生命あるのもすべてが憎しみの対象となるのです。

小熊座に変えられた子供のマスターを呼び戻してください。

彼も母親への愛に満ちています

ただし母親はすでに闇にのみこまれているので、理性を失っています

彼女には力も魔法も役に立ちません。ただ愛だけが効果的な方法です

お腹の所にある四角形の上ドワーベにも創造主がいます。

彼も、愛の亡霊によって過去の記憶の中に閉じ込められています

ここは、記憶の墓場とも呼ばれている場所です時間が止まっているからです。

ここに迷い込んだ旅人は、この記憶の狭間の中で迷子になり、自らの永遠の遊園地の中で、時と記憶を失っていくのです。

どうか、創造主と女神、そして多くのマスター達をここから救いだしてください



○フェアリーエンジェルの星 メラク

私が、2013年の11月、ギリシアから帰ってきてから、大きな物語が動き始めました。それが、ギリシアのエギナ島で出会ったフェアリーエンジェルのアルトハイムが目覚めです。Iさんにアーネストの直伝アチューメントを行っているときに、一人の眠れる女性が現れました。

クリスタルの神殿に静かに横たわっています。その女性は天使のようでもありフェアリーのようでもあります。どうやら、私がエギナ島で目覚めさせたアフェア神殿のアランハイムのようなようです。彼女は目覚めると、自分の役割について話してくれました。それは、地上に生きる生命たちに進化の光を与えることです。

ある程度の叡智が育った生命たちに、その生命がさらに高い叡智と愛を送り、光の存在になれるように導くことのようにです。

私たちの星のツアーでも、次元上昇したばかりの星でなく、ある程度落ち着いた星の生命たちに、創造主の光りとともに使用することで素晴らしい効果が生まれるとのことでした。

またSさんのアチューメントの時には、私たちは彼女のシエンロンにいざなわれてある星にたどり着きました。私達のはじめていく星でしたが、その星は地球と深い関係がある星で、地球よりも形も質量もはるかに大きい星ですが、地球の双子のような星だそうです。

地球が、レムリアやアトランティス時代に次元降下した時に放出したエネルギーを、この星が受け止め、保存しているようです。

それは宇宙のエネルギー保存の法則と呼ばれ、地球が新たに次元上昇するとき、この星に保存しておいたエネルギーを使用するとのことです。

この星の所在地を調べていて、私は大変驚きました。

その星は、まさに明日から始まる星のツアーでいくことになっている大熊座のメラク星だったのです。

星についてみると、荒れ果てた星でお猿さんたちがいます。

私が本当の姿を見せてくださいというと、美しいフェアリーに変化しました。

地球とのつながりが途絶え、自分たちの仕事も果たせないまま、木の上で生活していたために、生活環境に順応してお猿さんのようになってしまったようです。

彼女は、自分の本来の姿に戻りましたが、周りにお猿さんたちを見て、「私たちはいつの間にか、こんな姿になってしまった!」と、とてもびっくりしていました。

私は仲間を集まってもらうことにしました。呼んでも集まってきたりしないので、ホビット達にバナナをたくさん持ってこさせました。

するとお猿さんたちは、すぐに集まってきましたので、私はそこに創造主の光をおろします。

お猿さんたちは、瞬く間に美しいフェアリーたちに戻りました。

みなさん、自分たちの姿をみて驚いています。彼女たちは相当美意識が高いフェアリーだったようです。

私は、もしかすると、と思い、フェアリーのリーダーに、あなた方はアフェア神殿のアランハイムというフェアリーエンジェルの仲間ですか、と尋ねると、彼女たちはそうであると答えました。

私は、昨日目覚めたばかりのアランハイムをこの星に呼びました。

私と一度つながると、私がいるところであれば、みなさんすぐに来ることができるようです。

やはりこの星は、アランハイムの故郷の星のようです。

彼女は昔の仲間に戻られてうれしそうです。

私は、彼女たちの役目は、新しく生まれ変わる地球の生命たちを進化させていくことであることが理解できました。

彼女達は、創造主から7色の光を預かっていて、その光を進化のために使います。

私は、その7色の光を目覚めさせるために、サラスバティーを呼び出し、共に創造主の光をフェアリーたちに導きました。

不思議なことに、7色の虹の光は大空に美しくかかるのですが、この地にまで降りてきません。

どうやらこの大熊座の上空の空間に大きなゆがみがあるようです。

どうもその歪みが、大熊座のカリストとアルカス親子の問題と大きくかかわっているようです。

この問題が解決するとこのメラク星の光のパワーは最大になりそうです。

しかし、このメラク星のフェアリーエンジェルたちはとても美しく、地球に虹色の愛の光を送ることが楽しみようです。

でも一つ彼女たちには心配があります。

それは地球の人間たちが獣のような性格ではないかということを探ねられました。

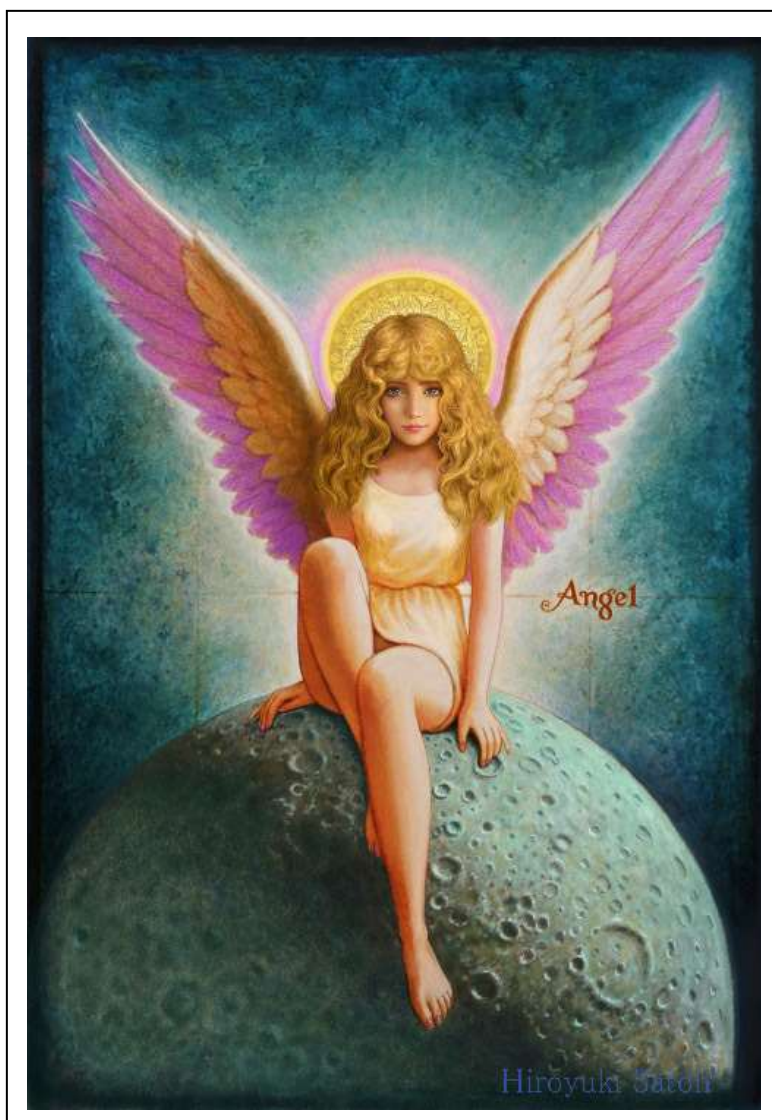
というのも、アランハルトが 2500 年前この地球に降り立ったとき、彼女の美しさに虜になった男たちが彼女を取り合って争いになったからです。

フェアリー達は、基本的に荒々しい男性が大嫌いなのです。

そのために彼女たちとの光の通路をレムリアの神殿につなぎ、そこから新たな地球に対して7色の愛の光をおろしてもらうことにしました。

光の通路をみんなで作り、アランハイムのフェアリーエンジェルたちは、この地球にやってきました。

そして、地球が次元上昇するときに、メラク星に蓄えられたエネルギーが、役に立つこととなるのでしょう。





○ドゥーベ星の遺跡と隠された次元

12月14日に行われた星のツアーでは、私達は最初に大熊座のメラク星に降り立ちました。このメラク星は、フェアリー・アランハイムの故郷の星です。前回この星に行ったときに、多くのアランハイムの仲間たちが、私達を待っていてくれました。そしてこの星が、地球がはるか昔次元降下した時に放出した星のエネルギーを、バランスをとるために蓄えておいてくれていることを教えてもらいました。その後アランハイムの仲間たちは、地球に降り立ち、レムリア神殿をベースに新しい光の世界を作り始めています。

私達は再び、メラク星に降り立ちましたが、そこは森と湖や小川で構成されるとても美しい星です。私達は、メラク星の状況を確認すると、次の星であるドゥーベ星に向かいました。この大熊座に来た理由の一つは、大熊座のもととなった精霊カリストを救い出すことです。そのために、いつカリストに会ってもよいように、カリストの息子であるアルカスと呼び出しました。アルカスは以前私達にコンタクトを取ってきていたのですぐに現れてくれました。

ドゥーベ星の様子を調べるために騎士団に星の偵察に行ってもらいます。星には、大きなお城の跡のような遺跡がありますが、森の中に埋もれているような感じです。ちょうど、中南米のマヤ遺跡のような情景が見えてきます。

騎士団たちの報告によると、この遺跡のように見えるお城には防御のためのシールドが張られてあり、地下に別次元があるようです。

そしてこのお城の上にも、おそらく創造主へと続く高次元がありそうですが、現在この星は、大きく次元降下しているために、その道は閉ざされているようです。

私は、クラasher連合のボスであるシバ神を呼び出し、この星にクラasher連合が攻撃をおこなったのか、聞いてみました。

クラasher連合は、このドゥーベ星とアルカイト星、ムスキタ星を攻略したそうです。

その目的は、高度に発展したIT技術を奪うためのようです。

現在、クラasher連合はこの星域には残っていないので、星の次元上昇をしてください、とのことでした。

私達は地上に降り立ち、ケンタウルスと狼騎士団を遺跡の周りに放ち、このシールドを張っている魔法使いを探します。

ほどなく狼騎士団が、遺跡の近くに立っている大きな樹木を探し出したので、レグルス騎士団のライオンにおおきく吠えてもらいました。

その声を聞いて驚いたのか、木に姿を変えていた魔法使いが現れました。

とても疲れ切っていた様子なので、癒しの女神と天使たちを呼び出し、この遺跡の番人である魔法使いを癒します。

彼は知識の門番と呼ばれる魔法使いで、クラasher連合からこの星の知識を守るために働いていたそうです。

私達は、彼の案内で、門を入ったところにある地下への階段を下りていく事にしました。

私達はその前にこの遺跡を修復するために、帝釈天騎士団たちに遺跡の修復をお願いしました。

魔法使いと共に階段を下りていくと、別の次元に入りました。

そこには機械が入った箱が並べられており、大きな体格の存在達も現れました。

彼らは、この星の高度に発達したテクノロジーとその知識、およびその社会を守るための騎士団のような存在らしいです。

ただし、この星のテクノロジーを支えていた人たちの姿は見えません。

魔法使いに聞くと、この星が2段階次元降下したために、彼らはこの星に存在することができなくて、他の場所に移っていったようです。

私はこの星の次元上昇を行うために、マザークリスタルの位置を尋ねました。

マザークリスタルは、この城を中心として東西南北に4つのクリスタルがあるようです。

私はその中でも中心となる北のクリスタルに行き、他のクリスタルには、メンバーと騎士団を配置して、クリスタル達を活性化していきます。

北のクリスタルは神聖なる叡智をつかさどるクリスタルで名前は、ザナ

西のクリスタルは、愛をつかさどるクリスタルでエナ

東のクリスタルは、癒しをつかさどるクリスタルでジーナ

南のクリスタルは、正義とパワーをつかさどるクリスタルでミナ

クリスタル達が輝き、光りが周りにあふれてきます。

私達は、このクリスタルの活性とともにドゥーベ星の次元上昇にかかります。

一つ次元が上昇していくと、今度は4つのクリスタルの中央、つまり遺跡の上空に新たな巨大クリスタルが姿

を見せてきます。

○高度なテクノロジーを築いた大熊座

ドゥーベ星の次元が一つ上昇した後に現れたクリスタルは、神聖なる光りのクリスタルでリーナと呼ばれています。

そのリーナを活性化して目覚めさせていきますが、不思議なことに、クリスタルの中に大きな人影というか熊影が映ります。

通常はクリスタルの中から美しい女神があらわれてくるのですが、ここは大熊座ですので、もしかしたら巨大な熊が目覚めてくるのかもしれませんが。

しかしこの熊さんがなかなか目覚めません。どうやら冬眠中らしいのですが、ゼウスの稲光や好物の蜂蜜、あるいは春の風など、どのような方法を駆使しても目覚めないのです。

しばらくして或ることに気づきました。

このクリスタルを目覚めさせるためのサブクリスタルがあるはずです。

近くにあったサブクリスタルを目覚めさせると、その光りがリーナのもとに走り、クリスタルの内部で光りが輝き始めました。

そしてやっと、クリスタルの中から女神リーナが目覚めてきました。(大熊の姿でなくてよかったです。)

リーナはこの大熊座の騎士団の守護者的な存在で、大熊座の高度に発達したテクノロジーを守り、おとめ座や牛飼い座によって作り出された時と空間を運用するお手伝いをします。

ただし現在、このテクノロジーを開発し運用していたメンバーはこの星から離れていますので、その間この星を守っているのが大熊座騎士団の働きです。

リーナはさらにこの大熊座の北斗七星のことについても教えてくれました。

メグレス星は、コンピュータの技術に優れ、時と空間をつかさどる仕事を行うそうです

フェクダ星は、宇宙船を活用するための機械技術を中心にテクノロジーを発展させました。

アリオト星は、宇宙船やエネルギーの原動力に関する技術

ミザール星は、方舟型宇宙船の研究

アルカイド星は、エネルギーのバランスなどに関する技術です

ただし、現在技術者は、クラシャー連合などの攻撃に備えて別の次元に移動しているようです。

そして問題となっている大熊座の精霊カリストは、この大熊座のテクノロジーを、この北斗七星の間でコミュニケーションをとりながら分かち合うことを仕事としていましたが、クラシャー連合の最初の心理攻撃により気持ちを攪乱されてしまい、子供の面影を追い求めていくようになったようです。

現在カリストの意識は星の間をさまよっているようですので、まずカリストの意識を元に戻す必要があるようです。

その後ドゥーベ星の更なる次元上昇に勤めましたが、もう少し上昇する余地が残っていますが、これは他の星々の次元上昇を待たないといけないようです。



○新しい宇宙のための新しい種族

今回の大熊座のツアーの報告を行う前に、私たちの能力や目的が大きく変化したことについて説明したいと思います。

星のツアーが進み、天の川銀河のみならず、外銀河に私達は出かけ、宇宙の困難な問題を解決するために私達の能力は非常に高まってきました。

宇宙の根本となる創造者や今まで私たちが知らなかった神々の秘密を次々と見せられ、また今までに持ちえなかった能力も与えられました。

その中に、あたらしい創造主たちの助けを借りて、新しい種族や天使達を生み出す力も与えられました。女神ビーナスが担当するユニバーサル・マリアージュといわれる側面がその働きをサポートし、創造主達が、私の願いにより、私と他の女神や天使たちの遺伝子を組みあわせて新しい種族や天使を新たに生み出すのです。

その目的とは、異なる星のスピリチュアルな遺伝子を組み合わせ、お互いのすぐれた資質を合わせもった種族を生み出すことです。

おそらく今までも、この方法によって、様々な星の人たちが生み出され、地球人も多くの優良なる星の人々の遺伝子を持つ人種として生み出されたのだと思います。

まさにこの宇宙最高度の秘密と神秘のシステムです。私たちは、その秘密に触れ、その力を使用することを許されました。

それによって、私達と多くの異なる星の人達の間で、必要な目的に沿って新しい種族を生み出すことが可能となったのです。

私たちがこの神秘的な働きに触れることができたのは、おそらくアランハイム達を作っている光の次元に、地球人と新しい星の人たちの優れた遺伝子を持つ新しい種族が必要だからだと思います。

今の地球人をどんどん意識進化させることも大切ですが、この美しい世界を純粋な魂を持つ存在達の力で、より高度な創造を進めていきたいと、創造主は考えているようです。

○創造主の、宇宙進化のための偉大なる試み

新しい種族が生まれる理由は、もう一つあります。

それは、この宇宙そのものも、常に新しい次元に向かって進化をし続けています。

あたらしい星や次元が生まれると共にそこに存在するに、ふさわしい働きを持った新しい種族が必要になってくるのです。

古いエネルギーのままの星は、一度次元降下させて、再度次元上昇させることにより、そのエネルギーを新しく作り変えて、星を生まれ変わらせることができます。

そして、古い種族も、新しい星に適応した新しい種族に生まれ変わる必要があるのです。

それは古い種族が進化していくとともに、新しい種族と融合していく事も必要なことです。

創造主にとって、それは冒険であり、進化のための新しい可能性を求めての試みです。

私たちは、創造主の働きの一翼を担っています。

創造主は、以前、私に「あなたをとおしてこの宇宙を見ている」と言われたことがあります。

私達は、各星に行って星のマスターを救い、星の次元上昇を行い、星を新しくしています。

それは、創造主の意図のもとに行っていることであり、私たちをとおして、創造主は、この宇宙の現状を身近に感じるとともに、新たなる創造を行っているのです。

今回、私たちがグレート・イエス、グレートマリア、そしてアーネストの創造主に会い、根源なる創造主のもとへ導かれ、そのエネルギーに直接触れ合うことができました。

それは私達にとっても至福と陶酔の時でした。

そして、その時に、私達にとって初めての体験である新種族の誕生を見たのです。

私達が、創造主のエネルギーに抱かれているときに、おそらく私達の遺伝子と創造主の光の間で火花が散るように、新しい種族が生まれました。

私は、その2人の少年と少女を、コーラルとコーネリアと名付けました。

彼等は、私達の星にツアーなどにも同行するとともに、アランハイムの世界でこれから育っていく事になるのでしょう。根源なる創造主は、新しい所属が生まれることを大変喜んでおられます。

新しい種族の創造というのは、このように創造主の意図のもとで、異なる種族同士が一つの目的のもとに融合して、新しい資質を持つ存在を生み出すことのようなのです。

もちろん、物理世界のことではありませんので、お互いの肉体的な接触は全く必要ありません。

お互いの種族が、同じ意図をもって、創造主に願うことでこの新しい種族というものは生まれてくるようです。





○フェクダ星の次元上昇

それでは話を大熊座に戻しましょう。

私達は、今回も、創造主の神殿から大熊座のメラク星へと旅立つことにしました。

ご丁寧なことに、大熊座からドゥーベ星の女神リーナ様の使いとして、大熊騎士団団長のアーノルドという熊の騎士が、私達のもとに迎えに来ていたようですが、創造主の神殿がわからず、ウロウロしていたところをゼウス様に見つけてもらい、一緒に連れていく事にしました。

私はひそかに彼のことを熊五郎と呼んでいます。

さてメラク星に入ると、すぐに大熊座騎士団の団長である女神リーナ様に来ていただきました。

私達はこれから、北斗七星の星々を巡ることになりますが、その前にこの7つの星を結びつけるための光の通路を作ることになりました。

私と女神リーナ様との間にエネルギーをつなげ、星の通路を騎士団やシエンロン達全員で作ります。

美しい光の道が大空に出来上がります。これで私達もまた大熊座の人たちも自由に行き来ができるようになります。

今回私達は、フェクダ星にはいることにしました。

この星は、さほど攻撃を受けているわけではないのですが、ドゥーベ星の次元降下の影響で、1次元下がっているために、星の機能がストップしています。

この星に降り立ったときは、ごつごつした岩場のようにも見えます。地下というか別次元にこの星の人達はいるようです。

女神リーナが、地面に何かの記号を書いています。おそらく別次元への入り口を開いているのでしょう。

私達はそこに開いた扉から、フェクダ星の別次元へと入っていくと、そこは機械やモニターが並んでいるような部屋に見えます。

その住人は、私達が来たことに大きな警戒を表していましたが、私達と女神リーナが、私達が来た理由を話すと安心したのか、私達に協力することに同意してくれました。

私達は、一度そこから出て星のマザークリスタルを探します。

この星にはメインのクリスタルが一つとサブのクリスタルが2つあります。

メインのクリスタルの名前はマリアンヌという名前です。

私達はこの3つのクリスタルを活性化すると同時に、この星の次元上昇を行いました。

フェクダ星が次元上昇すると、海がある緑豊かな星に変わっていきます。

そして海に浮かぶ、島の一つ一つが何かしら宇宙船のようにも見えてきます。

この星全体が、宇宙船を作る装置のようなもので構成されているような感じさえもします。

フェクダ星が次元上昇すると、先ほどの別次元は、きちんこの星の地下に収まったようです。

多くの人が戻ってくるような気配がします。

○メグレス星の大熊騎士団とアンタレス星からきた騎士団

次に私達は、メグレス星へと移りました。

ここもフェクダ星と同じように、直接の攻撃は受けていませんが、ドゥーベ星の次元降下の影響で1次元下がっています。

この星の別次元に入ると、何か黒いヘドロのようなものが、足元を覆っているような気がしますので、マー君にお掃除をしてもらいます。

この星の技術者は、メグレス星が次元降下したために、生命が育つには厳しい環境になってしまったために助けを待っているとのことでした。

この星のマザークリスタルを活性化しようとする、遠くから一人の女性と熊たちがこちらに向かって歩いてきます。

この星の大熊座騎士団であることに間違いはないようです。

女性はエリーナと名乗り、ドゥーベ星の女神リーナの姉妹のようです。

もちろん彼が引き連れてきたのはこの星の騎士団ですが、やはりこの星が次元降下しているせいか、元気がありません。

私達は協力して、マザークリスタルを活性化してこの星の次元上昇を行いました。

するとマザークリスタルが輝き始めるとともに、この星の女神エリーナの姿も輝き始め力を取り戻していくようです。

熊たちも冬眠から覚めたばかりのようで、何が起こったのかわからずボーっとしていますので、ホビット達に、熊の大好物である蜂蜜をたくさん持ってきてもらって彼らに与えます。

熊たちは目を輝かせて、蜂蜜を食べています。

その光景を見ているときに、メンバーが不思議なことに気づきました。

この星に、もうひとつ異なる存在がいるようなのです。

女神エリーナに聞くと、この星の技術を守るために、別の騎士団とマスターが存在しているようですが、お互いに交流はあまりないようです。

彼等は、技術者とは仲が良く、このメグレス星を中心としていくつかの星に仲間がいるそうです。

私が、その存在を呼び出すと、屈強な体をした騎士団のエリートのような存在が出てきました。

事情を聞くと、彼等は、もともとこの星の人たちではなく、この星の技術者たちを守るために、ともに外銀河からやってきたようです。

しかし彼の部下は、クラシャー連合の心理攻撃にあつて、自分たちが何者であるか、そして何のためにここにいるのかということをおぼろげに忘れてしまい、ほとんど意識がないような状態になってしまったようです。

団長は、とっさに自分の身を守っていたために、意識は正常に保つことができたのですが、やはり多くの記憶を失ってしまったようです。

私は、彼らに集まってもらい、サナジーナが持っていた楽器により、彼らの心理的なダメージを回復させるとともに、癒しの女神、癒しの天使を呼び出し、彼らの意識とスピリットを癒します。

そして創造主アーネストからもらった黄金のワンドで光を与え創造主の光を彼らに呼び込みます。

しばらくすると、彼らの意識が戻り始めます。

そして、騎士団のマスターは私達に大切なことを教えてくれました。

この大熊座に移ってきた技術者は、外銀河のアンタレス星という星を中心とした連合体からやってきたようです。

彼等は、アンタレス星の近くの星々でそれぞれの得意分野を研究して、それをアンタレス星に持ち込みます。そしてほかの星が研究した内容と自分たちの研究を統合しながら、宇宙工学に関する知識と技術を育てていったようです。

騎士団はこの中心となるアンタレス星で組織され、各星の技術を守るために、各星に派遣されているようです。このアンタレス連合も、アールスター様たちの仲間のように、非常に高度に発展した技術のために、クラシャー連合から攻撃を受けることになりました。

アンタレス連合は、クラシャー連合の攻撃を予測し、自分たちの技術を失わないように、その一部をほかの星へ移すことに決め、この天の川銀河の大熊座に移ってきたようです。

そして以前からの習慣に従い、それぞれの星の出身者たちは各星に分かれ、自分たちの研究をつづけましたし、アンタレス星から派遣された騎士団も、このメグレス星を中心に、北斗七星全体の技術者を守るために働いていたようです。

しかしクラシャー連合の攻撃により、まず各星々の連絡係であった精霊カリストや各星のアンタレス星の騎士団たちが、心理攻撃に会い正常な意識をなくしてしまったそうです。

大熊の騎士団も一生懸命戦ったようですが、やはりクラシャー連合にはかなわず、技術者はこの星から退避し

てしまい、星も次元降下をおこしてしまいました。

アンタレス連合の騎士団のマスターはとても悔しそうに涙を浮かべました。

私達は彼らを慰めるとともに、このフェクダ星をはじめ、北斗七星の星々をもとの状態に戻すために協力してくれるようお願いしました。

騎士団の団長は喜んで私達と共に同行することを約束してくれました。

私達は、ようやく意識を取り戻した騎士団たちと冬眠から覚めた大熊騎士団達に、創造主から与えられた虹色のワンドと剣、そしてマントを渡し、胸に心理攻撃から身を守るラブラブ・ワッペンをつけてあげました。これで彼等も、私達の大切な仲間です。

またメグレス星の女神エリーナは、もう一人の姉妹ラディーナとそのパートナーの所在を心配しています。彼女たちがすべてそろふことにより、精霊カリストのことも、もっとよくわかるようになるそうです。

○大熊座の新種族 女神であり聖なる騎士アールベロー

私達は、彼らがもっと深く協力して、次元上昇した大熊座をさらに進化させるために、この4つの種族から新しい種族を生み出すことにしました。

この大熊座のもともとの住人であるパワフルで星への順応性が高い大熊座騎士団とこの星の美しく聡明で気高い女神達、アンタレス連合から来た非常に正義感が強く特殊な能力を有するアンタレス騎士団、テクノロジーの知識が深く宇宙工学に詳しい叡智あふれるアンタレス連合の技術者たち

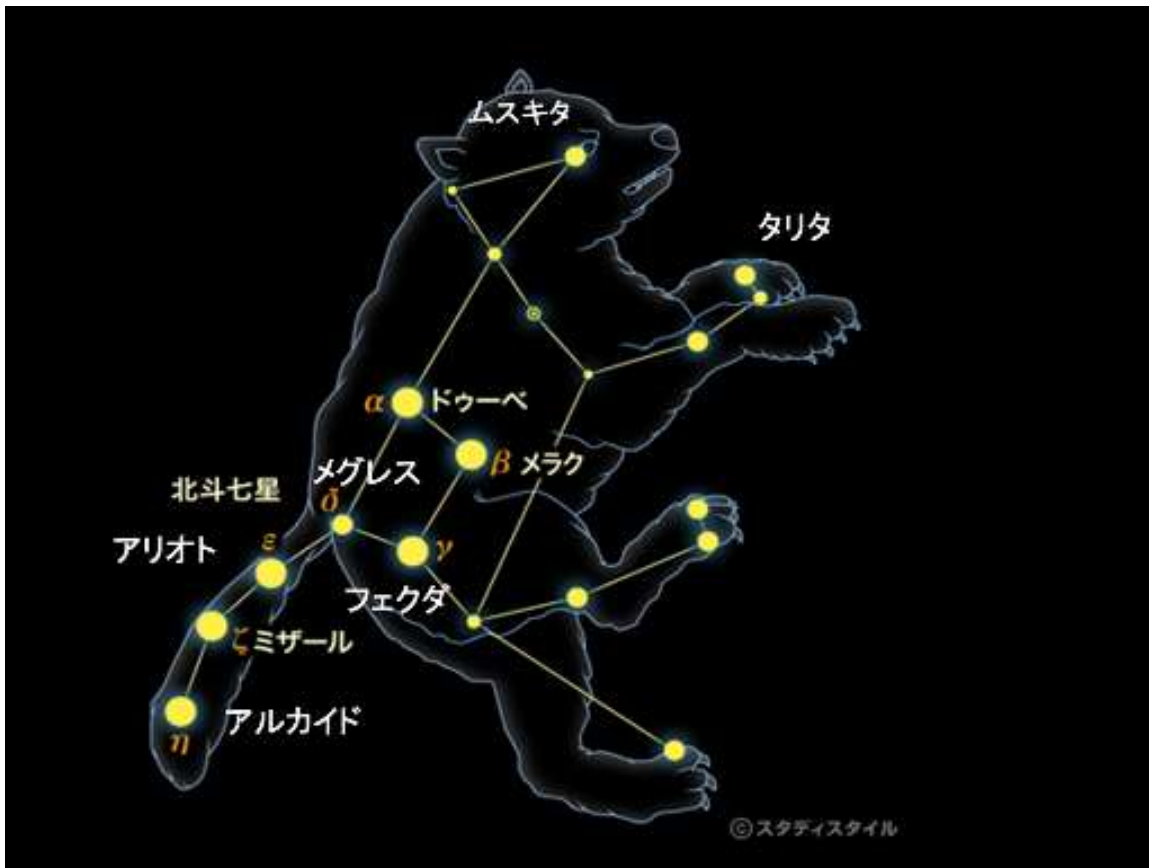
彼らの素晴らしい利点を取りこみ、この星に対する順応性が高くパワフルで気高く聡明で特殊な能力と知識を持つ存在を生み出してほしいと、創造主とユニバーサル・マリアージュに祈りました。

すると手をつなぎ丸く輪になった彼らの中心から、噴水のように光が沸き起こり、美しい光景を生み出します。そして、その光の中心に新しい大熊座の種族である女神であり聖なる騎士であるアールベローが立っていました。

私は、彼女の導きをエリーナとリーナにお願いするとともに、大熊騎士団とアンタレス騎士団に相互協力し合って各星を巡り、残された騎士団達を救出することをお願いしてきました。

そしてサリジーナには冬眠している大熊騎士団や通常の意識を失っているアンタレス騎士団に対して、楽器を奏で、彼らを目覚めさせることを役目として与えてきました。

ここから新しい大熊座の歴史が新たに始まろうとしています。



○ 3つの星にかけられた宇宙最高度の封印

メグレス星に降り立つことによって、大熊座騎士団だけでなく、外銀河のアンタレス連合の騎士団とも仲間になることができました。

そしてアンタレス連合の技術者とその守護を行う騎士団が、この大熊座で宇宙船や宇宙工学の技術研究を行っていたこともわかりました。

しかし、その技術をクラッシャー連合によって狙われ、アンタレス騎士団は自らの意識を失い、技術者も非難を余儀なくされ、大切な技術研究も中断されてしまったのです。

私達は今迄ドゥーベ星、メグレス星、フェクダ星の騎士団と女神達を救い出し、星の次元上昇を行ってきました。

前回のツアーでは、メグレス星を舞台に、大熊座騎士団と女神、アンタレス騎士団とアンタレス連合の叡智ある存在達の融合のもとに、アールベローと呼ばれる新しい種族が生まれました。

それは、彼らの調和と新生のあかしでもあります。

私達は、高揚した気分のまま、残りの3つの星を次元上昇させ、大熊座の精霊カリストの探索に入ろうとしていた矢先、大変な問題に遭遇してしまいました。

それは、メグレス星の横にあるアリオト星の次元上昇に入った時のことでした。

アリオト星は、クラッシャー連合の直接の被害を受けておらず、他の星の影響で次元降下をしているだけです。マザークリスタルも、クリスタルの奥で眠るマスターもすでに見つけていますので、次元上昇は簡単に行われるはずでしたが、どのように祈ってみても、星の次元上昇が起こらないのです。

いったいどうしたのだろう、私はかなり困ってしまい魔法使いたちに尋ねました。
するとかなり高度な魔法によって、星の次元上昇が妨げられているようです。
それも、このアリオト星だけでなく、他の2つの星も、同じように封印され次元上昇できない状態であることがわかってきました。

いったい誰が、何のために、このような大がかりな魔法による封印を施したのでしょうか、私は魔法使いに尋ねましたが、このクラスの魔法を使えるのは、この宇宙全体にも数名しかいないというばかりで、はっきりと答えません。

わたしは、この宇宙最高峰の魔法使いである「宇宙の魔法使い」を呼び出しこの魔法を解除できるか尋ねると、宇宙の魔法使いは、「この魔法は創造主によるものなので、自分たちが解除することはできない」と伝えてきました。

もちろん創造主といっても、根源なる創造主から生まれた創造主のファミリーはたくさんいますし、その立場や役割がすべて異なっていますが、あえて星の次元上昇にストップをかけるような働きを持つ創造主がいるのでしょうか。

最初は、破壊と創造の役割を担うシバ神が頭に浮かびましたが、先日の私との話で、シバ神たちはこの大熊座からすでに撤退しているということなので、おそらくシバ神ではないだろうと思いました。

その時、私の頭によぎったのは、先日その姿を現した、ユニバーサル・スクリプトのグレート・オニキスと呼ばれる創造主のファミリーの一人です。

彼は、人々を目覚め成長させるために、あえて厳しい試練や制裁を与えることがあります。
ただし非常に厳しい立場にいる彼は、グレート・イエスのもう一つの側面でもあります。
イエス様の愛と優しさ、そしてグレート・オニキスの厳しさと試練、この2つの側面はまさに裏表で、両方のエネルギーが、私たち生命には必要なのです。

グレート・オニキスとイエス様が一つになった時、それぞれの光を上回る無限の光が生まれます。

わたしは、グレート・オニキスを私の前に呼び出し、この星の封印について尋ねました。

するとこの封印はまぎれもなく、彼の仕事でした。

「私達は、あなた方がこれから外銀河に向かうに当たって、本当の実力があるか確かめようとおもい、このような封印をかけました。どうぞこの封印を解いてください。これはあなた方へのテストです。」

私の今まで紅葉していた気分は、一瞬で覚めました。

相手はこの宇宙最高レベルの創造主であり、彼の魔法を打ち破り、星を次元上昇させてテストに合格しなければ大変です。

私の心の中で静かに熱い闘志が燃え上がります。

宇宙の光VS創造主グレート・オニキスの魔法バトルが始まりました。

○創造主グレート・オニキスVS宇宙の光

といっても、このようなケースは初めてなので、どのようにしたらよいかわかりませんし、このような状況では、おそらく誰もアドバイスは出してくれそうにありません。

新しく生まれた新種族たちの新たな能力も駆使しながら解決するしかないようです。

私達はまず、魔法使いたちをすべて集め、「宇宙の魔法使い」の指示のもとに、一人一人が、神聖幾何学の起点となる「ミラクルな神聖幾何学」を描くことにしました。

これはオニキスの封印の力を弱めて、星に光の通路を作るためです。

新種族のイリーナと虹の女神イリスは、彼らの連帯力を強めることで、能力を最大限に高めるための虹の光で、魔法使いたちを包みます。

大地のパワーを強める力を持つアルテミーナは、その強力な尻尾パワーで、大地に力を呼び覚まします。

アフロディーネと天使ハニエリーナ達は、次元を自由に行き来できる力を使って、クリスタルの奥深く眠る女神と騎士団に、目覚めるように光を送ります。

アマテリーナは、この星の上空からこの星に太陽のような光をどんどん送ります。

そして、私と宇宙の光のメンバーは、マザー・クリスタルに光を注ぎ込みます。

今回の次元上昇の主演は、ティターン一族のスティクスから生まれた新種族であるスティクス一族です。

彼等は、次元上昇を得意とするティターン一族の力に加え、私達の次元を自由に行き来できる能力も持っていますので、今まで以上に多彩な活動ができます。

多くの騎士団やシェンロン達も、皆で力を合わせて星に光を送ったり、次元上昇の手伝いをしています。

私は、その状況にあわせて、幾多もの創造主のファミリーの皆さんに手伝ってもらい、この星の上に神聖幾何学を描いてもらいこの星に光を導いていきます。

そして根源なる創造主とマリア様、イエス様にもお願いをして光を送ってもらいます。

少しずつ、アリオト星が動き始め、次元が上がってきます。

星のエネルギーが動きだし、足元に緑の草が生えてくるようです。

次に私は、私のスピリットを使って、この星のスピリットの中に降りていきます。

手にはアーネスト様からもらったゴールドのワンドを持っています。

私はこの星を黒くつつみこむようなグレート・オニキスのエネルギーを、ゴールド・ワンドで切り裂いていきます。

グレート・オニキスによってかけられた封印や魔法が少しずつ星からはがされ離れていきます。

星は本来持っていた力に目覚め輝き始めます。

この時をねらって、皆で星の次元を上げるために力を合わせます。

シェンロンとスティックス一族で、この星の次元上昇をサポートしてもらうために、先日次元上昇したメグレス星とフェクダ星に、光のラインを作り、星のエネルギーでこのアリオト星を引っ張り上げます。

最後の手段、イエス様とマリア様と私の遺伝子から生まれた、偉大な天使であるマリナエルを呼び出し、この星に創造主の光を呼び込んで星の次元を上げて行きます。

宇宙の光り全員の気持ちとパワーが、このアリオト星に奇跡をもたらします。

まるで、3つの星を包む大きな殻から、豆粒が飛び出すように、アリオト星が、グレート・オニキスの呪文を打ち砕き、新しい次元へと上がっていき、スティクスとティターン一族が、星を新しい次元に固定していきま

○創造主とユニバーサル・エンジェル達の光りの加護

私たちは、次のアルカイド星に取りかかります。

この星も、マザークリスタルの活性を中心に、アリオト星と同じように次元上を行っていきます。

しかしこの星は、クラシャー連合の攻撃にあっているため、他の星よりもさらに次元を落としているようです。

先ほどと同じやり方では、通用しません。

私は、この宇宙に存在する偉大なる大天使達ユニバーサル・エンジェル達の力もお借りすることにしました。

根源なる創造主の意図のもとに、この宇宙を統べる大天使たちの力はとても強力です。

特に、ユニバーサルエンジェル・ミカエルの守護のもとに、この星の次元上昇を行います。

天使たちの強力な力が星に満ち溢れてきます。

その隙を見て、私は、星のスピリチュアル界におり、先ほどのようにグレート・オニキスの封印を切り開いていきます。

そして、スティクスとティターン一族が星を引き上げ、騎士団たちが全力でサポートします。

すると、とても重たいエネルギーを身にまとっていたアルカイド星が、次元上昇に向かって動き始め、グレート・オニキスの封印を解き放ち次元上昇していきます。

中央にあるミザール星は、両側の星が次元上昇して上がって来たため、それに合わせて動き始めています。

一人のメンバーが、私たちが次元上昇をしている間、小さな宇宙船のようなものが、私達を見守っていることを伝えてきました。

どうやら、私たちのテストを見守る試験官のような方が乗っているようです。

私たちは、3つの星の次元上昇を何とか行うことに成功しました。

グレート・オニキスも苦笑いをしています。

私たちを見守っていた人達も、宇宙船から「合格だよ！」と喜んでくれています。

それにしても、私たちは創造主の大きな計らいを感じないではられません。

私は、今日の星のツアーでまさかこのようなことが起こるとは知りもしませんでした。

今回、新しく生命の創造を行っているシリウスB星とアランハイムのフェアリー・ワールドに、新しい女神達や種族が必要であることを思い、創造主から与えられて種族創生の能力を使用させていただきこの2つの星に新しい種族を生み出したばかりでした。

その新しい種族の仲間たちがいなければ、おそらくこのオニキスの封印は破れなかったでしょう。

このような一連の流れも、すべて根源なる創造主によって作られたプログラムであるとしても、私たちに次々と降りかかる困難を乗り越える能力とパワーを与えてくれる創造主に感謝です。

次回は、この3つの星に再度降り立って、大熊座の騎士団と女神、そしてアンタレス連合の騎士団と技術者を助けに行き、精霊カリストへの道を開きたいと思います。





○アルカイド星の女神を命がけで守った騎士団達

前回大熊座の尻尾に当たる3つの星の封印を解き放ち、次元上昇にまで待っていましたが、今日は、この3つの星をまわり、星の女神たちの所在を確かめることとなりました。

まずメグレス星に降り立ち、リーナ&エリーナの女神達と、大熊座騎士団、アンタレス騎士団のマスターと共にアリオト星へと向かいました。

アリオト星の被害はあまりなさそうです。

すぐに女神セリーナと大熊騎士団の団長が現れ、私たちが歓迎してくれました。

私たちは、アリオト星の女神たちの無事を確認したら、すぐに次のミザール星へと向かいました。

ミザール星も次元上昇した後は、大きなトラブルも残っていないようで、女神ナーナと大熊騎士団、そしてアンタレス連合のマスターも現れてきました。

しかし問題は最後のアルカイド星です。ここはクラasher連合により、直接攻撃が行われた星ですので、どのような状態になっているか心配です。

まず偵察隊のアリュージャ達やパトリス&わし座の騎士団を空から偵察させます。

星の外から見ているメンバーの目にも、荒廃した砂漠や焼けただれた廃墟が見えてきます。

相当激しい戦いが行われた様子です。

アリュージャ達の報告でも、相当星が傷ついている様子がうかがえます。

私たちは、この惑星の状態を少しでも改善するために、マー君とキノコちゃんをこの星におろし、星の浄化を

行わせませす。

またアルテミーナのパワフルな力により、星のエネルギーを高め、惑星意識を目覚めさせませす。

メンバーの一人が、円形劇場の遺跡のような場所に生命の存在を感知しますが、その場所はとてもミラクルな魔法の力で守られているようです。

魔法使いたちがその封印を解くと、そこに傷ついた女神たちが2人、意識を失って倒れています。

すぐに女神イシス様とアスクレピオス様たちに来てもらい、彼女たちの介護が始まませす。

ただ周りを見ると、多くの熊の騎士団たちやアンタレス連合の騎士団たちも傷ついて倒れています。

すでに命をなくしたメンバーたちもいるようです。

その悲惨な光景に私たちの心にも悲しみが訪れませす。

しばらく介護を続けていると、熊の騎士団の団長とアンタレスの騎士団の団長が目覚めてきました。

熊の騎士団の団長はとても大きく、この大熊座の騎士団全体のリーダーでもあるようです。

ここは、アルカイド星のIT技術の中枢を担っていた場所だったのですが、クラシャー連合の数回にわたる攻撃(エネルギーアタック)を受けて多くの犠牲者を出してしまったこと。

そして、自分たちは、女神たちをこの場所の地下に隠し封印することで精いっぱいであったことなどを話してくれませす。

この星には生き残っている騎士団は少なそうです。肝心の女神達も、呆然として意識を閉ざしています。

目の前で多くの仲間たちが傷つけられる光景を見て、そのショックのあまり自分の心の中に閉じこもり、私たちの働きかけにも反応しませせん。

私たちは多くの天使と癒しの女神の力を借りて、彼女たちを癒す時間をとることにしました。

○白熊の騎士団長を抱く女神

私たちは、メラク星に戻ることにしました。メラク星は、私たちが最初に来た大熊座の星で、アランハイム達の故郷でもありますね。

メラク星は、とても質量が大きくパワフルなエネルギーをそなえているため、最初に星の次元上昇を行うと他の星に大きな影響を与えるということで、最後に次元上昇を行うことにしました。

またメラク星は、リーナ達の姉妹でラディーナが統括している星だということですが、そのパートナーの行方が分からないので探してくれと、たのまれていた星です。

私たちが星に降り立つと、女神ラディーナがやってきました。

そして星の状態を説明してくれませすが、1か所、地面にできた大きな裂け目があり、そこに問題がありそうだということを伝えてきました。

私たちは早速その場所に行くと、白く凍った湖の中央に大きな裂け目があります。

とても不思議ですが、凍っている湖はここだけのようで、白熊たちがその周りを取りかこむようにウロウロと

しています。

おそらくこの騎士団は白熊なのでしょう。

私たちは、その裂け目に入っていくことにしました。

小柄なコロボックルの特殊工作隊とアテナから生まれた新しい子供たちと私で降りていきます。

その裂け目は、とても深く、また暗く、様子がわかりません。

アマテリーナに洞窟の中を照らしてもらおうとともに、アリュージャ達に中を調べてもらいます。

アリュージャ達が戻ってくると、一番奥には、とがった金属のようなものが地面に刺さっており、その横には大きな白熊が倒れているとのこと。

そして、周りはすべて凍っています。

この裂け目のさらに地下には、重要な秘密が隠されていることから、それと大きく関係していることは間違いないようです。

そして、そこに影響を及ぼさないように、この白熊のマスターが、金属の破片などの働きを、自分の力をすべて使って魔法で凍らせたようです。

そのために、この湖だけが凍っているようです。

まずこの白熊を助け出さなければなりません、アリュージャの3人組には重たくて持てそうにありません。スティクス達の助けを借りようと思いましたが、この細い裂け目に入ることは難しいようです。

私はそこで、先日生まれた種族であるサファイヤー族にお願いすることにしました。

サファイヤ・アリスとホビット達です。彼らは自分の姿や大きさを環境にあわせて自由に変えられるようです。

私がお願いすると、スーと渦巻のような形に姿を変えて、この裂け目の中に入りました。

そして地底につくと、この裂け目をくぐり抜けられる大きさのアリスに変わり、白熊を運ぼうとしましたが、少し重いようです。

サファイヤ・フェアリーとサファイア・ホビットも一緒に中に入り、アリスを手伝って、白熊のマスターを無事地上に運び上げました。

すぐにアスクレピオス様たちや癒しの女神、癒しの天使が白熊の騎士団長を取り囲み癒し始めます。

もちろんパートナーである女神ラディーナは、白熊を抱きかかえ泣いています。

メンバーのシエンロンも後ろから炎を吹きかけて温めています。

しばらくすると白熊の体温が上がっていくようで、肌の色が変わってきます。

ようやく、彼が目覚めてきたようです。女神の涙をこらえて顔をあげます。

この星にも、女神と騎士団長が戻ってきました。

○大熊座の星々が光りに次元に戻ってくる

私たちは急いで、この星の次元上昇へと入ることにしました。

そして続けて、大熊座全体の次元上昇に入らなければなりません。

メラク星のマザークリスタルは2個あります。

一つは大きな木の近く、もう一つは森の中です。

女神達に手伝ってもらい、正しい位置に安置し、その周りにクリスタルの神殿を作り上げます。

ホビット達は、クリスタルの活性装置と次元上昇装置を準備します。

アリュージャやアールスター、パトリス&わし座、そしてスティクス一族に魔法使いたちを中心に大熊座全体の次元上昇の準備を行います。

このメラク星の次元が上がることをきっかけにして、大熊全体の次元上昇を試みます。

私達はメラク星のマザークリスタルの前に立ちます。この2つのクリスタルは、ラディーナとレイノルドという名前です。

あたし達は、祈りと光りをこのクリスタルにこめていきます。

天の川銀河を守る創造主、創造主の大切な側面を守る創造主、そしてマリア様、イエス様の光りもこの星に呼び込みます。

もちろん天の川銀河の大天使達もサポートに来ています。

メラク星がやっとの思いで動き始めました。確かにとても大きな質量をもっている星のようです。

すると、ラディーナのクリスタルから、らせん状の渦巻きが出始め空に昇っていきます。

メンバーの一人にその渦巻きを追いかけていくようお願いしました。

すると渦巻きがたどり着いた先にいたのは、私たちが探し求めていた精霊カリストでした。

呆然自失として立ちつくし、意識も十分でないようなかわいそうな状態です。

私はすぐにアポロンとサリジーナを、呼び出し意識を回復させるための楽器を演奏し始めました。

そしてカリストの息子であるアルカス呼び出し、彼女の介抱をしてもらいました。

もちろん癒しの天使、癒しの女神の呼び出し彼女を癒します。

おそらく大熊座全体の次元上昇には、彼女がしっかりとしなければなりません。

私たちは彼女を、元気づけるとともに、各星に星のしずくを落としていき、星を活性化していきます。

やがて、大熊座全体が大きく動き始めました。

女神達も大熊座の騎士団も大喜びです。星々に緑が戻り、星の住人達が少しずつ姿を見せ始めています。

この大変な苦難にあった大熊座が、再び元の場所に戻ることができたのは、まさにクリスマスの奇跡です。

この大熊座の次元上昇は、新しい能力とパワーを持った種族達の誕生なくしてはできなかった仕事でした。

私たちは、この大熊座の旅を経験する中で、創造主の多くの側面を知ったり、新たな能力や仲間も見出すことができました。

先進テクノロジーの星の悲劇 PART 7 ムスキタ星を守り大破した星型宇宙船タリタ

○大切な資源を守り抜いたムスキタ星

大熊座の星座のうち北斗七星を形成する星に関しては、女神や大熊騎士団も出そろい、星の次元上昇も無事終了しました。

次は、さらに大熊座全体の次元を上げて、おそらく北斗七星の中央にいらっしゃる創造主とこの星々を結び付けていく必要があるのですが、その前にもう一つ気になっている星があります。

それは、クラシャー連合が襲った星が3つありますが、その星の一つがムスキタ星なのです。

北斗七星から離れた星で、けっして大熊座の中心の星ではないのですが、クラシャー連合が襲ったということは、必ず理由があるはずですよ。

私達は、半月ぶりに大熊座のメラク星に降り立ちました。

まずメラク星に、すべての女神と大熊騎士団、アンタレス騎士団と技術者に集まってもらい、その後の星の状況を確認しました。

気になっていたアルカイド星の女神エレナと大熊騎士団の団長エラルドの傷も癒えだいぶ回復しているようです。

また星を守るために自分の身をささげて凍結していたメラク星のレイノルドもとても元気になっていました。

私は真摯で愛情深い彼等と久しぶりにあえてとてもうれしい思いでいっぱいです。

女神達によると、ムスキタ星とタリタ星にも、女神と大熊騎士団がいるということで、その救出を急がなくてはなりません。

女神たちの話によると、ムスキタ星には、宇宙工学のテクノロジーにとって大変重要な資源があるということで、クラシャー連合がその資源をねらってムスキタ星に攻撃をかけたところ、大きな星型宇宙船であるタリタ星が、ムスキタ星を守るように防御したために、タリタ星も大きな被害を受けているとのことでした。

さっそくムスキタ星に私達は出かけることにしました。

騎士団達に、メラクからドウーベ、そしてムスキタ、タリタ、そこらまたメラクへと光の通路を作ってもらい自由に行き来ができるようにします。

ベラトリックスの宇宙船で行くとすぐにムスキタ星につきます。

ムスキタ星は、荒れた大地ですが、偵察隊によるとそれほど変わった様子はないようですが、気になる塔が一つ立っています。

通信のためのようですが、何かしら不思議です。何かをカモフラージュしているようにも見えます。

大熊座の女神達が、一生懸命、仲間の女神を呼び出していますが応答がありません。

その時、メンバーの一人がこの星の様子がおかしいこと、空気の中に、生命を枯れさせるようなウイルスがたくさんあって、そのために生命が外に出れない状況になっていることを伝えてきました。

私は急いで、そのような雑菌やウイルスを食べて環境を浄化するマー君とキノコちゃんを星に派遣して、星の大気を浄化してもらいます。

そして特殊工作隊であるコロボックルを呼び出して、そのウイルスの発生装置を壊してもらうことをお願いしました。

その間に、ムスキタ星に光りのマカバを作り、創造主と大天使達の光りを呼び込みます。

しばらくして、コロボックル達が、機械のようなものをもって帰ってきました。

とても珍しい機械のようで、コロボックル達が興味津々で見えていたので、彼らにあげることにしました。

星の浄化も進み、星のエネルギーも変わってきたので、私達は星へと降りることにしました。

女神達が呼びかけると、どこからか女神や大熊騎士団が現れます。アンタレスの騎士団も一緒です。

技術者は別の次元に逃げている、もう少ししたら戻ってくることでしょう。

女神はエリーゼ、大熊騎士団の団長はロラルドという名前です。

女神達に大きな被害はないようですが、女神はとても悲しげな顔をしています。

理由を聞くと、自分たちをかばって代わりに、クラシャー連合の攻撃を受けたタリタ星とその女神の事が気になるようです。

タリタ星のおかげで、この星の大切な資源と人々は守られたようですが、タリタ星がうけたダメージはかなり大きいようです。

私達は急いで、ムスキタ星の次元上昇を行うために、星のマザークリスタルのもとに向かいます。

この星のクリスタルは全部で3個あるようです。

場所は、高い山の上にあるようです。クリスタルが活性化して輝き始めると、星が輝き始めます。

騎士団や魔法使いたちが、次元上昇のエネルギーを送ります。

すると、北斗七星の星々からも、水の玉が転がり落ちてくるように、エネルギーのしずくが、ムスキタ星に注がれていきます。

星々が協力し合って、お互いの星を支えていることがよくわかります。

星は、やがて輝きを取戻し元の位置にもどっていきます。

○大破した星型宇宙船タリタと謎のマスター

私達は、ムスキタ星の女神を伴ってタリタ星へと向かいました。

驚いたことにタリタ星は、地表に木や花なども生えていますが、所々が大きくえぐれ、そこから金属の破片が見えています。

おそらく攻撃により破壊され、宇宙船としての機能を失っているようです

私もいくつかの星型宇宙船は見てきましたが、このように砲撃などで表面が壊され、内部が見えているものは初めてです。

実は、私達は今日の星のツアーに出発するとき、見慣れないマスターから、新しい神聖幾何学をもらいました。

私は、星に光りを導くとき、その星に適切なエネルギーを導くために、そこに描かれる神聖幾何学はすべて創造主にお任せしていますので、私自身が神聖幾何学を意識することも、このように授けてもらうこともありませんでした。

しかしそのマスターは、私に神聖幾何学を授け、この幾何学は宇宙工学のためのもので、壊れた宇宙船や機械などを修復したり宇宙工学に関するエネルギーを調整したりするような効果があることを教えてくれました。創造主の方達は、私達がこのような状況を迎えることが分かっている、あらかじめ神聖幾何学を渡してきていたようです。

私達がこの星を調べている間に、メンバーの一人が遠くに光る青い光を発見しました。

私達に呼びかけるように近づいてきます。

私は、メンバーにその光りとハートをつなぐようにしてもらい、メッセージを受け取ります。

どうやら、私達がアンタレス連合と呼んでいる存在と関係が深い存在のようです。

見た目に細長い青い光のマスターのようですが、彼らがアンタレス連合の騎士団と技術者を指導しているようです。

彼らは7～8人のメンバーで構成されており、まず私達にアンタレスの騎士団と技術者を助けていただいております、とお礼を述べてきました。

そしてこの星型宇宙船も自分達が作ったものであり、私達と共にその修復を行うために来たことを伝えてくれました。

私は、創造主や大天使を呼び出し、この星型宇宙船の上に、先ほどいただいた宇宙工学のための神聖幾何学を描いてもらい、光を呼び込みます。

驚いたことに、宇宙船の破壊された部分に、触手のようなコードが伸びてきてつながれていきます。

壊れた部分が光り輝き、その機能や外形がどんどん修復されていくようです。

ここは専門のアンタレスのマスター達に任せておいた方がよいようです。

私達は、どこかに隠れている女神達を探すために星の中に入り、偵察隊と騎士団を星中に派遣します。

するとメンバーの一人が、闇の中に箱があり、それを守っている男性の姿が見えてきました。

どうやらアンタレス騎士団の一人のようで、彼は箱を指さしています。

私達は急いで彼のもとにいき、大熊座の女神達にその箱を開くようお願いしました。

するとそこには、フェアリーのような姿をした女神が傷ついて横たわっています。

その箱は、彼女の生命維持装置のようです。

ホビット達が持っている生命力のサプリメントを彼女に渡すとともに、すぐにアスクレピオス様に来ていただき、彼女の治療をしてもらいます。

女神の名前は、タリジーナというそうです。

ムスキタ星の女神が、タリジーナが生きてくれたことを喜び涙を流しています。

彼女は、とても大きな肉体的、精神的ダメージを受けているようでかなり危険な状態です。

私達と大熊座の女神達は、彼女を取り囲むようにして輪を作り、そこに光りを満たしていきます。

私も、私のハートの中から生命のしずくと呼ばれる光りを彼女に満たします。

その時、この星の湖のようなところに浮かんでいた小島が動き出し、その中から大熊座騎士団とアンタレス騎士団のメンバーが出てきます。

この小島は、小型宇宙船のようで、その中に長い間避難していたようです。

私達は、大熊座騎士団の団長であるタルナルドと共に、この星のマザークリスタルへと向かいます。ただし、星といっても、基本的に宇宙船なので、ここのクリスタルは立方体をしており宇宙船を動かす原動力となるようです。

宇宙船の修復もだいぶ終わったようなので、このクリスタルに祈りをささげてこの星を次元上昇していくことにしました。



先進テクノロジーの星の悲劇 PART 8 泣き出した創造主

これで大熊座の主要な星をすべて回り、女神や騎士団の救出と各星の最初の次元上昇が終わりました。次に残された仕事は、この大熊座の創造主をこの世界に呼び戻し、最終的な星座そのものの次元上昇を行うことです。

私達は、ドゥーベ星に戻ってきました。

タリタ星の傷ついた女神も、光のマカバに移して安全に移動させます。

彼女はしばらくほかの女神達やアスクレピオスのもとで治療を続ける必要があるようです。

私達は、創造主を呼び出すための儀式に入りました。

9つの星の女神と大熊座騎士団、アンタレス騎士団、アンタレスのマスター達がそれぞれ星ごとにグループとなり、大きな輪を作ります。

私達の騎士団やマスターもその輪を取り囲み光のサークルを作ります。

そして、全員で祈りをささげ、私達も大天使と創造主の光りを呼び込みます。

大熊座の大切なまとめ役である精霊カリストにも出てきてもらい共に祈りますが、どうした事か、創造主が出てくる気配がありません。

通常であれば、ここで空から物々しく創造主が現れてハッピーエンドになるのですが、創造主が現れる気配がないのです。

私も胸騒ぎがして、グレート・オニキスを呼び出します。

この場面でグレート・オニキスのテストはないだろうと思うのですが確認します。

グレート・オニキスは、自分はこのことに関わっていないことを述べたうえで、何かが創造主が現れることを阻んでいると伝えてきました。

私は、宇宙の魔法使いを呼び出し教えてもらうことにしました。

彼は、創造主と星々の間の糸がほつれていて結びつきが弱いことを教えてくれました。

私達は、上の次元に上がり創造主を探すことにしました。

大熊座の創造主が、何か鎖のようなもので自分を包み、動けない状態になっている姿が浮かんできました。

彼は、大熊座が攻撃を受け悲惨な状態になったことに大きなショックを受け、その状況を改善しようと一生懸命だったようですが、それができずに悲嘆にくれているうちに、大熊座との関係が希薄になったようです。

そのために、彼は精神的に混乱して、正常な関係が大熊座と取れずになんじがらめの状態になったようです。

私達は界王様をこの場にお呼びして、この状況について意見を求めました。

界王様は、この創造主の状態では、通常の創造主の任務に戻るには時間が必要であることを伝えられてきました。

そこで私は、彼を創造主のもとでしばらく休ませ、ほかの創造主の方をこの星によこしてもらおうようお願いしました。

界王様が、私に心当たりがあるからおっしゃられた瞬間、横にいた大熊座の創造主が泣き出し、「私にどうかやらせてください、私を大熊座の創造主から外さないでください」と訴えてきました。

彼が、どれほど大熊座を愛しているか、十分に伝わってきます。

私は、界王様と目を合わせ、しばらく沈黙してしまいました。

そして、私は考えた後に一つの提案をしました。

彼が、元気になって戻ってくるまでの間、牛飼い座とおとめ座、そしてしし座の創造主に協力してもらい、この大熊座を守ってもらうこと。

そして、彼が戻ってきたら、彼は他の3人の創造主と協力を保ちながら、この大熊座を守る創造主に戻ることを提案しました。

この大熊座は、天の川銀河にとっても重要な星座です。

大熊座を、周りの星座の創造主達が協力して守ることで、星座同士の連携もとれ、さらにより良い関係が生まれてきます。

界王様も私達の話を一承していただきましたので、さっそく、牛飼い座とおとめ座、しし座の創造主を呼び出し、了解を求めました。

皆さん喜んで協力していただくことになりましたので、全員で大熊座のために祈ることにしました。

○再び、大熊座の新種族アールベローの誕生

その後しばらくして再び大熊座に戻り、創造主の様子をうかがうと、大熊座の創造主もだいぶ元気を取り戻してきたようです。

再びマスターAのグループと界王様にも来ていただき前回できなかった大熊座の次元と創造主の次元を繋げていく作業を今回は行うことにしました。

今回大熊座の創造主をサポートしてもらうために来ていただいた3人の創造主と大熊座の創造主、そして界王様には、創造主の次元に入ってもらいます。

大熊座の女神、大熊騎士団、アンタレス騎士団、アンタレスの技術者は、ドゥーベ星に入ってもらい、各星のグループごとに輪を作り、そのエネルギーを一つにします。

みんなのエネルギーが一つになり、竜巻のように空に上がっていきます。

そして空からも、創造主の輝きが光に満ちて降りてくると、2つの世界の間には光の鎖が繋がりに、しっかりと光の通路が生まれてきました。

精霊カリストも加わり、大熊座の星々が、創造主の光を受けて輝き始めます。

これで、創造主と大熊座のつながりがきちんとできたようです。

そして私達は次の仕事に移ります。それは大熊座に新しい種族を作ることです。

今回の戦いの中で、多くの星が被害をうけ、戦士たちもすくなくなっていることも理由ですが、大熊座が次元上昇して新しい星としてこれから生まれ変わってきますので、その星を支える新しい種族が必要です。

それは今まで、お互いが深く理解してこれなかった大熊座の女神や騎士団達とアンタレスの騎士団および技術者を繋ぐための象徴的な種族です。

この4つの特異な種族たちの遺伝子の素晴らしいところを組合わせて、4つの種族の特徴を併せ持つ種族を作ります。

女神達の優しさと愛。大熊騎士団の勇気とパワー、そして星に対する適応性。

アンタレス騎士団の能力と資質。アンタレス技術者の叡智と技能。

これらの物を合わせ持った諸族が生まれることにより、女神のように優しく愛にあふれ、大熊のように勇気とパワーを持ち、アンタレスの騎士団のように、騎士としての優れた能力を持ち、また技術者としての叡智を持つ種族が生まれてくることを願って新種族の誕生の儀式を行います。

界王様とイエス様、そしてマリア様にサポートをいただき、ユニバーサル・マリアージュなのであるビーナス様に、種族誕生のためのエネルギーをこの星におろしてもらいます。

柔らかく優しいエネルギーに包まれて、すべてのメンバーが手を握り大きなサークルを作り祈ります。

やがてサークルの中に、大きな光の柱が立ち、たくさんの火花が輝きます。

今回は、一つ一つの星に分かれる必要があるため、新種族も9グループ作らなければなりません。

いつもよりもさらに大きな火花の柱が輝き続けると、その光の中に人影が浮かび上がってきました。

男性と女性の形で9組のカップルと数頭の熊さんが光の中から現れてきました。

彼等は、アールベローと名付けられました。

○大熊座の次元上昇と騎士団のあたらしい仲間たち

アールベローたちが、すべて出そろうと、私達は最終的な大熊座の次元上昇に入ります。

星の女神や騎士団、それにアールベローも1組ずつに分かれてそれぞれの星に戻り、大熊座の星座ごと次元上昇を行います。

星に戻ったメンバー達は、各星のマザークリスタルのもとで配置につき、次元上昇を一緒に行います。

私達は、今回は星座のすべての星を一緒に次元上するために、魔法使いや騎士団そしてマスター達、ステイツクス族も力を合わせて、次元上を行います。

わたしはこの星座に創造主たちの名前を呼びながら、神聖幾何学を描いてもらい、その光をこの星座に集めます。

先ほど作った創造主とこの大熊座を繋ぐ光がさらに明るく輝き広がっていきます。

やがて大熊座全体がパワフルな輝きに包まれ、星の次元が上がっていきます。

わたしは、先日目覚めたグレート・マザーの光をここに導きました。

オーロラのように7色に輝く薄いベールのような光が、星々を包んでいきます。

大熊座が、グッと持ちあがるようにして次元上昇していきます。

今まで荒れ果てていたように見える大熊座の星に、美しい自然が戻ってきました。

女神や大熊たちが憩うにふさわしい森が戻ってきたのです。

大熊たちは特に喜んでいます。

この森のなかで彼等は、何代にもわたって幸福に暮らしてきたのでしょう。

次元が上昇し終わると、私は再び、彼らをドウーベ星に呼び集め、これからの大熊座の進むべき道について話をするとともに、今私達が勧めている「天の川銀河連合」に参加するように勧めました。

そして、私達と共に宇宙を回り、様々な経験と学びを得て、立派な騎士になるための騎士団に参加する者はいないかと尋ねました。

さすがに騎士団の団長たちはこの星を離れるわけにはいかないので、各騎士団の副団長のような熊たちが、勢よく手を挙げています。

彼等は若くパワフルで好奇心がとても強い者たちばかりです。

わたしは彼らを前に呼び出し、私のハートと光をつなげるとともに、私達の騎士団の正装である、虹のマントと虹のワンド、ハートに付けるラブラブ・ワッペンを授与しました。

また、この場には集まっていますが、星に戻ると同じような若い大熊の騎士たちがまだいるということなので、彼等は一度星に戻り仲間を募って、私達の創造主の神殿に来るように言いました。

私達はこれで大熊座の仕事を終わり、私達を呼ぶ次の星座へと移ることにしました。

PS、

その日の夜、創造主の神殿に入ると、神殿の入り口のところでウロウロしている10数名の騎士たちがいました。

姿形は、人間のような形をしているのですが、彼等はまさに大熊の騎士団です。

もうやってきたみたいです。

わたしは彼らを創造主の神殿に導き、アデイテーヤ様たちに紹介をしました。

そして、「銀河連合の神殿」にいるケイロンとアンタレスの騎士団長に引き合わせ、彼らの指導をお願いしました。

その時私達は、叡智の神殿に行く用事があったので、彼らも一緒に叡智の図書館に連れて行き、その利用法を教えたところ、彼等はよろこんで勉強を始めました。

しばらくして、彼らのほうをふと見ると、数人の騎士団は熊の姿に戻って勉強していました。

そのあまりの可愛さに、私達は笑ってしまいましたが、頼りになる騎士団の加入に私もうれしくなりました。